

時代とともに振り返る
同窓会40年の足跡

OB's NOW

活躍する同窓生

BONELLO オーナー 中谷幸司氏
麻益株式会社 代表取締役社長 高木喜弘氏

新企画

懐かしの恩師は、今

坪田暢允 教授 新熊 清 教授

クラブ&サークル,
ゼミナール短信

同窓会40周年
記念事業のご案内



40周年の喜びを、ひとつに

この度、同窓会は第一期生が卒業して以来、40年が経過いたしました。これを記念し、「40周年記念事業」を開催することとなりました。

今回の記念事業は同窓生の皆様に広くご参加していただき、40周年の喜びを多くの方々と分かち合いたく、有名タレントによるトークショーと、アトラクションを交えた懇親会の2部構成で企画いたしました。4時間という短いひとときですが、同窓生の皆様がお互いに旧交を温め、一層のコミュニケーションを図れるよう努めてまいります。

なお例年、大学祭と併催している「ホームカミングデー」を本年は開催せず、40周年記念事業に代えさせていただきますので、ご了承ください。

ご多忙の折ですが、同窓生の皆様に一人でも多くご参加いただけることを祈念し、ご案内申し上げます。

名古屋学院大学同窓会

40周年記念事業のご案内

FEATURE

第1部 トークショー

「北京オリンピックを振り返って — 日本チーム“結果”の明暗 —」

古田敦也 氏

Atsuya Furuta

(元東京ヤクルトスワローズ選手兼任監督)

プロフィール

兵庫県出身の元プロ野球選手(捕手)。ヤクルトスワローズ一筋で現役を過ごし、名捕手として一時代を築く。
また、2005年シーズン終了後から引退年の2007年まで選手兼任監督を務めた。現在フリーの野球解説者やコメンテーターなどとして各方面で活躍中。



第2部 懇親会

立食パーティー

アトラクション

中国大黄河雑技団
金城学院大学 ハンドベルクワイア
ジャズバンド「THE HOMEY Gs」

と き 平成20年11月16日(日)

ところ 名古屋東急ホテル(ヴェルサイユの間・3階)

名古屋市中区栄4-6-8

TEL 052-251-2411

URL <http://www.nagoya-h.tokyuhotels.co.jp>

プログラム

第1部 トークショー	14:30	入場受付(ヴェルサイユの間・3階)
	15:00	開会の辞
	15:10	トークショー開始
	16:30	トークショー終了
第2部 懇親会	17:00	懇親会(立食パーティー) 歓談 アトラクション
	19:30	懇親会終了・閉会の辞

会費

同窓生 3,000円(お一人様)

ご家族 中学生以上/2,000円(お一人様)、小学生以下/無料

●会費は、当日に会場受付にて徴収させていただきます。

「40周年記念事業」参加申し込み方法

参加ご希望の方は、メール又はFAXにて所定事項をご記入の上、お申し込みください。

●メール 同窓会ホームページアドレス(<http://ngudo.com>)内の参加申し込み書をご利用ください。

●FAX 同封したチラシ裏面の参加申し込み書をご利用ください。

締切 10月10日(金)必着

※参加申し込みは先着順となります。参加申し込みの受領後、御入場引換券を同窓会事務局より郵送します。なお、参加多数となった場合は、参加申し込みをお断りする場合がありますので、ご了承ください。



名古屋学院大学同窓会 会長

占部 憲一

会長あいさつ

同窓会40周年記念にあたって

爽やかな季節となり、同窓生の皆様におかれましては益々お元気で活躍のこととご拝察いたします。

大学は昨年、経済学部・商学部・外国語学



学校法人名古屋学院大学 理事長

伊藤 信義

理事長あいさつ

母校の現況

同窓生の皆様、2008年名古屋学院大学同窓会は設立40周年を迎えられました。おめでとございます。

大学も2009年には創立45周年を迎え、この記念すべき年に学校法人としては、いくつかの取り組みを行ってまいります。中でも一

部の3学部が名古屋市国際会議場の隣にある白鳥に移り、すばらしい環境のもと授業を行っています。名古屋キャンパスのチャペル建設に際しては、多くの方々からの寄付をいただき、誠にありがとうございました。

また、同窓会は、昨年ホームカミングデーを初めて名古屋キャンパスにて開催したところ、多くの同窓生にご参加いただき、盛大に開催することができました。

そして本年、第一期生が卒業してから40年が経過したことを記念し、同窓会40周年記念事業を開催いたします。ご家族やご友人とともに、是非ご参加いただきたいと思っております。本年度も、同窓会の活動にご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

番の事業としては、現在の白鳥学舎敷地内に、学生のアメニティの場となる新棟を建設します。学生に憩いの場を提供し、快適な学生生活が過ごせるよう計画しています。また、新棟には今後展開していく新学部の研究室や学生支援のためのキャリアセンター、保健センターなどの各種センター、500名規模のホールを予定しています。この他2009年には、45周年記念演奏会・講演会、スポーツ交流試合など、名古屋の地に戻って来た名古屋学院大学の45周年を祝う多彩な行事を企画しており、同窓生の皆様も気軽に立ち寄られるようお願いいたします。

なお、創立45周年記念事業としての新棟建設については募金を募っております。別途ご案内いたしておりますので、同窓生の皆様のご協力をお願いする所です。



名古屋学院大学 学長

小嶋 博

学長あいさつ

同窓生との交流を深めて

同窓会の設立40周年、まことにおめでとうございます。会長をはじめとして役員の皆様と同窓会運営のご努力に深甚の敬意を表します。

大学は3万6千人の卒業生を社会に送り出し、名古屋への移転とともに、一層の飛躍が約束されています。同窓生の皆様のコミュニティの場である同窓会とともに、このたび社会の第線で活躍されている方との交流の場「NGU

エグゼクティブ同友会」を立ち上げました。この設立準備のため多くの同窓生の皆様にお会いして、様々な分野で活躍されていることを再認識させていただき、本当にうれしく思いました。

大学は、文部科学省等の打ち出した3つのGP(特色GP、現代GP、学生支援GP)を獲得し、教育活動において、愛知県の大学で例を見ない、素晴らしい評価をいただいております。また、今後も学部・大学院ともにリニューアルを図りながら、大きく飛躍すべく、教職員が一体となり努力しております。

昨年、キャンパスが名古屋と瀬戸の2つに分かれ、大学は大きな転換期を迎えました。そうした中で、学士力と教育の質の保証をどう確保していくか。それが今後の課題になっていくと考えております。これからも本学の教育に対し、同窓生の皆様のご理解をいただきますよう、お願い申し上げます。



HISTORY OF NGU ALUMNI ASSOCIATION

時代とともに振り返る 同窓会40年の足跡

名古屋学院大学は1964（昭和39）年の開学以来、中部地区および全国に実社会の即戦力たる人材を数多く輩出して来ましたが、2008年3月において、卒業生数は3万6千人を超えています。

この度、名古屋学院大学同窓会40周年の足跡を社会の動きと交えて年表にまとめました。皆様が大学在籍中に起きた出来事もあることと思います。大学時代の思い出を振り返りながら、今一度、40年の重みを噛みしめませんか。



名古屋キャンパス 2007

同窓会・大学の動き



大学チャペル 1983



瀬戸キャンパス移転時 1968



大幸町キャンパス 1964

社会の動き

“パンの ワールドカップ” 日本代表



Profile

中谷幸司 氏

(96C)

BONELLO (ブランジュJ.C.ボネロ)
オーナー
パン世界大会「ドイツIBAカップ2009」
日本代表

今年7月11日、岐阜県恵那市にオープンしたパン屋さん「BONELLO (ブランジュJ.C.ボネロ)」。オーナーの中谷さんは本学の商学部卒。在学中、アルバイト先のパン屋で出会った店長さんの仕事に対する姿勢に感銘し、パンの世界にのめり込んで行った中谷さん。卒業後の就職先で、南フランスでの修業時代、日本でのさまざまなコンテストに出場し、ついにパン世界大会「ドイツIBAカップ2009」日本代表へ。そして独立するまでの中谷さんのパン作りの原点と今後の展望を伺いました。

パンとの出会いは、大学1年生の冬。当時、瀬戸ではあまりアルバイト先がなく、気軽な感覚でパン屋さんに応募しました。そこで出会った店長さんが、パン作りの楽しさや素晴らしい、社会人としてのマナーや人としてどうあるべきかなどを教えてください。人間的にもすごく良い方で、「この人になりたい」と思い、パンの世界にのめり込んで行きました。就職活動では他の業種も考えましたが、結局は名古屋のあるパン製造会社に就職。学生時代の経験があったので、入社2年で製造チーフになりました。この会社に5年いましたが、社会人になってから胸に秘めていた「フランスで修業をしてみたい」という思いを捨て切れず、27歳の時に渡仏。フランスに知り

合いがいた訳でもなく、最初の修業先だけを決めて行きました。私はまず行動して、その後で考えるタイプなので(笑)。パン作りに関しては、日本の方がレベルが高かった。修業先の南フランスではあえて製菓店やチョコレート店を選びました。何の実績もない日本人が1人で飛び込んでいく訳ですから、信用を積み上げる為には閉店まで残って掃除でも何でもしましたね。

全部で4つのお店で修業をしましたが、2店目で人生の師匠といえる素晴らしい人と出会えました。ジョン・クリストフ・ボネロというシニアなんですが、技術的にも、人間的にも、「こんな人には会ったことがない」というくらい凄く魅力的な人です。私はシエフの名前を一生忘れません。店の名前にその人の名前を拝借したくらいですから。残り2店の修業先はシエフの口利きで紹介していただきました。「シエフの日本人弟子として、どこにいても恥じないものをお客様に提供しよう」と決めたのもその頃です。



そして、帰国。すぐに独立することは難しいので、資金を貯める為に5年ほど地元のパン屋さんに通いました。そこで腕試しに様々なコンテストに出場し始めた訳です。とにかくオリジナリティーを求めて、自分独自の味を出せるように心がけて出場しているうちに、賞をいただけるようになり、今年、「2008ペー

カリーワールドカップ日本予選」では、光栄にも来年10月に開催されるパン世界大会「ドイツIBAカップ2009」日本代表の1人にも選ばれました。

今年7月にオープンしたお店にもお近くにいらした際は気軽に覗きください。私の尊敬するシエフ直伝のお菓子づくりの技術をパンに活かす、素材と製法、そして味にもこだわったパンをご提供します。私が味もすべて確認してできるものは全部自分で作った自信ばかりです。

パン作り仲間募集中!

TEL・FAX 0573-25-5154
携帯電話 090-5850-7848

創業明治7年 会社理念は 「細く、長く、白く」



Profile

高木喜弘 氏

(83E)

麻益株式会社
代表取締役社長

創業明治7年(1874年)、来年135周年を迎える老舗企業。各種工業用繊維資材の製造及び販売を行う、麻益株式会社の代表取締役 高木喜弘さんに、事業内容や企業理念、今後の展望などを伺いました。

当社は基本的に工業用繊維資材を扱っている企業です。創業は古く明治7年、西春日井郡新川町でロープ、ひも、鼻緒などの麻製品を扱う店として開業しました。麻の天然繊維が豊富にあった当時は、その関係で屋号を「麻屋」と称していました。そこから時代が流れて、昭和30年代からはそれまでの商社機能にメーカー機能を加えての事業展開となります。帝人(株)の技術協力により、染色整理用資材のラッピングクロスの製造販売を開始したのが昭和33年(1958)年。以来、半世紀にわたって提供を続けています。その他にも息の長い取り扱い商品が多数あります。

現在は大きく分けて繊維の資材を扱っている繊維資材事業部、公害防止用の製品を扱う環境繊維事業部が事業の柱です。繊維資材事業部は先程のラッピングクロス以外にも、ビル空調のクリーン化に使われるエアロフィ

ルターや、粉・粒体の物流輸送で合理化・省力化を実現するコンテナバッグ・アサコンなども提供しています。また環境繊維事業部では、工場から排出される粉塵などを改修するフェルト濾過布を使用したフィルターバッグ、水を濾過するフィルタークロスなどがあります。公害防止の観点から、空気をきれいにすると、水もきれいにすという成果は上がっていますが、私はもう一歩進んで、資源のリサイクルや人間の健康を守るということに対して貢献できる事業をしたいと考えています。

私の会社の会社理念は「細く、長く、白く」となっています。「細く」は功をあせつて無理をせず、常に堅実経営に努めること。「長く」は企業として永遠に社会やお客様に貢献し続けること。「白く」は絶えず最良の製品を世に送り出すこと。私はこの会社理念に対し、真摯な姿勢で公正明大に取り組みことが経営者としての責務だと常々思っています。さらに進めて言えば、先程のリサイクルや健康と双壁をなすものとして考えていることに、産業の空洞化が叫ばれて久しい「日本の産業を守りたい」という強い気持ちがあります。今一番怖いのは、優れた品質・高い技術力が、この国から生まれなくなってしまうこと。もちろん、そこには「お客様の声やカタチに」というキーワードが生きていてこそだと思います。何でも安価だから海外から調達するのではなく、可能な限り日本の資材等を使い続けていきたいと思



本社ビル外観予想図(平成20年末完成予定)

活躍する同窓生募集!

名古屋学院大学同窓会会報「NGUDO.com」では、各分野でご活躍される一芸に秀でた同窓生の方々の情報を募集しています。お知り合いの同窓生で、「この人は」と思われる方がいらっしゃれば、是非同窓会事務局までご一報ください。電話、FAX、同窓会ホームページへの書き込み、どちらでも大歓迎です。ホームページへの書き込みは、投稿ページをご利用ください。

■名古屋学院大学同窓会事務局
TEL 052-242-6444
FAX 052-242-6455
同窓会ホームページ
http://ngudo.com

TEACHERS' NOW

懐かしの恩師は、今

在学中にお世話になった恩師の近況をお伝える
新企画がスタート。

相変わらず、 私は元気です。



経済学部
坪田暢允 教授
(担当:スポーツ社会学)

か。スポーツを通して社会を見つめ、分析・研究していると言つてもいいかもしれません。日本体育学会という団体に所属し、さまざまな研究・発表を行っています。

—最近は何を研究されていますか。

バレーボールが分野的には専門なのですが、最近ではゴルフに関する研究が主になっています。私は日本ゴルフ学会の東海支部支部長を務めていますから、ゴルフについての研究・発表はこの学会で行っています。最近のものは1千人程のゴルフスクール生を対象に、運動生理学的及び心理学的な考察を交えた研究成果を、「ゴルフスクール生に関する研究—スクール生の意識と活動実態—」というタイトルで発表しました。

名古屋学院大学の歴史とともに歩まれて40年余。スポーツ社会学をご担当されている坪田教授に、近況と今後の展望を伺いました。

—名古屋学院大学に勤続されて何年になりましたか。

名古屋学院大学の教員となったのは、1967(昭和42)年です。今年で41年経つたことになりました。大学卒業と同時に22歳の若さで教員になった訳ですが、本学は70歳定年なので、このまま元氣に行けば勤続48年までお世話になることとなります。今、卒業生は3万6千人を超えています。運動部の人をはじめ大抵の人は「色が黒くて背の高い先生」というと私のことを思い出してくれると思います(笑)。

—専門は「スポーツ社会学」といって、これはどんな学問ですか。

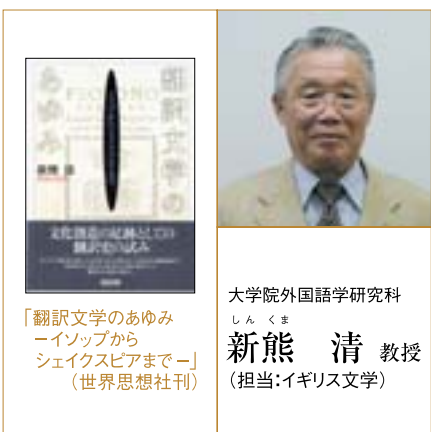
「スポーツ社会学」は、スポーツに関わる諸問題について社会的に考察していく学問なんです。例えば、スポーツと商業主義との関係性と

とを願っています。

—最後に、同窓生の皆さんへ一言お願いします。

私は教員に就任して以来、元気で、相変わらず真つ黒に焼けて、各地を飛び回っています。同窓生の皆さんも、社会でなお一層活躍されることを願っています。

学者として、 教師として、 常に真剣勝負。



大学院外国語学研究科
新熊 清 教授
(担当:イギリス文学)

また、私はアメリカのオハイオ州立ブレド大学においても博士号を得ており、その時の論文を日本語に翻訳すると「明治時代におけるイギリス文学の翻訳と近代日本文学の創造」ということになりました。今年9月に、その研究成果を日本の方々にも読んでいただきたいと思い、新しく日本語で書きなおして出版しました。タイトルは「翻訳文学のあゆみ—インソップからシェイクスピアまで—」(世界思想社刊)。この本が16冊目となる私の最新著書です。ですから、私の専門はバーナード・ショーと翻訳文学の2つということになりますね。

—精神的に研究し、論文発表、著書刊行されていますが、その活力源は何でしょうか。

私が名古屋学院大学の教員に就任した1969(昭和44)年当時は、若手教員に指導教授が1人付き、2年間に亘つて指導する制度がありました。私は北九州大学の名誉教授でもあった今田準造という方の薫陶を受け、年に2本の論文を書く癖をつけていただきました。研究した成果は論文にする、そして学会で発表する、これが私の生き方になりました。また、その当時の経済学部長であり、海のシルクロード研究の第一人者でもあった山田憲太郎教授に、「教師である前に学者たれ」と厳しく指導をいただきました。学者としての自分を全うし、教師としての学識をしっかり身に付けることが大切であると徹底的に叩き込まれました。この時の経験が、今の私の源となっています。これがあつたからこそ、学生に向けて全力で相対することができました。教育は真剣勝負ですから、いい加減なことではできません。これが私の持論です。

—イギリス文学がご専門と伺いましたが、特に何を研究されていますか。

長年イギリスのバーナード・ショーを研究しています。研究を始めて40年になります。バーナード・ショーはイギリス近代劇を確立した立役者で、ミュージカルで有名な「マイフェア・レディ」の原作「ピグマリオン」を書いた人です。私の文学博士号は、バーナード・ショーの研究で得たものです。学位論文名は「バーナード・ショー研究—演劇論—」。この論文を基にイギリス演劇論を展開したのが、「イギリスの演劇—宗教と文化を交えて語る—」(文化書房博文社刊)です。同窓生のみなさんは私を見たら、すぐにバーナード・ショーを連想してもらえらると思います(笑)。ちなみに現在、日本バーナード・ショー協会の会長も務めています。

—同窓生の皆さんへ一言お願いします。

私は、自分が教えた学生をはじめ、名古屋学院大学の学生たちを信じているので、「やればできる」と言いたいですね。「成るようにならないう」ではなく、「成るようになる」と自分を信じ、目的意識を持つて何事もやり続けること。仮に成りたい者に成れない場合でも、やり続ければそれに代わる道は必ず用意されます。名古屋学院大学はどこに出しても恥ずかしくない人間を輩出している、という自信があります。精一杯生きて欲しいんです。疲れたり、迷つたりしたら、母校のキャンパスに戻って来てください。力が、そして智慧が湧いてきますよ。

アメリカンフットボール部

OB&OG会

瀬戸キャンパスのグラウンドリニューアルに伴い、第一グラウンドが人工芝化され、平成20年2月22日に第一グラウンド人工芝完成式典が挙行されました。

アメリカンフットボール部は6月29日に、リニューアル後の初試合「東海学生連盟主催・東海学生アメリカンフットボール大会 名院大対愛学大(春の定期戦)」を行いました。当日は雨でしたが、水はけの良い人工芝の威力が発揮され、熱き戦いが繰り広げられました。

名古屋学院大学アメリカンフットボール部OB & OG会
副会長 稲垣 守(71E)



日本拳法部OB会

日本拳法は、昭和7年に創始され、防具を着装して互いに自由に打ち合つて稽古する乱の拳法です。しかし、空手、柔道、剣道などに比べて認知度は全国的に低いかもありません。そのため、日本拳法を正しく普及させる

創部以来、OB数も約200名となりました。卒業後、指導者となつているOBも数多くおります。

昨年は、社会人唯一の団体戦である第7回中部オープンに名古屋学院大学OBチーム(NGU35)として参加、17団体の中で見事優勝しました。

ため、指導者として知的能力が高く、社会的に信頼度が高い人、つまり大学生に浸透し、次いで彼らが指導者となり日本拳法をさらに普及していくことを望んだと聞いております。

そのため、関西大学から始まり、大学で日本拳法を学び卒業したOBに指導者が多いとも言えます。

名古屋学院大学日本拳法部は、1974年(昭和49年)



第7回中部オープン優勝

今後も日本拳法会の中でも名古屋学院大学を全国的に認知してもらつたため、OB及び現役の学生と力を合わせて頑張つてまいりますのでご支援のほどよろしくお願ひします。

名古屋学院大学日本拳法部OB会
櫻井嘉人(82E)

CLUB & CIRCLE OB&OG, SEMINAR REPORT

クラブ&サークル、ゼミナール短信

ゴルフ部OB親睦会

毎年、顧問の亀井先生を囲み、品野台カントリークラブにてゴルフ部OB親睦会を開催しております。今年も第10回の記念大会となり、9月14日(日)に開催いたしました。プレー後の懇親会では、顧問の亀井先生よりゴルフ部の活動状況や大学の情報などを知ることができました。

今後とも伝統あるゴルフ部OB親睦会を大学の歴史と共に歩んで参りたいと考えておりますので、OB会開催の際には、何卒ご参加いただくようお願い申し上げます。

名古屋学院大学ゴルフ部OB親睦会
須崎英晴(78E) 浅見宏之(93E)



ソフトテニス部 第三回OB総会の報告

本年3月8日、第三回総会を参加者28名にて「丸西伊優2」で行いました。3回目となつて顔ぶれも固まつてきたと思われれます。その中でも初参加の方に2名出席していただき、盛会にて終了しました。



役員改選、総会の日時変更などが決まりましたのでお知らせします。なお、まだ名簿の整理が完全ではなく、連絡の取れない方がいますので、総会のお知らせが届いていない方はお手数ですが事務局までご連絡ください。

名古屋学院大学ソフトテニス部OB会
事務局 箕形光正

■役員改選

発足して間もない為、再選となりました。

■総会開催予定日の変更

毎年5月または6月の土曜日に開催することとなりました。

事務局/箕形宅(箕形光正)

住所 〒462-0810 名古屋市北区

山田4-9-21 407

TEL/FAX 052-913-0006

携帯電話 090-2946-1984

名古屋学院大学ソフトテニス部OB会

事務局 箕形光正

■ゴルフ部OB親睦会よりお願い

現在、各学年に代表幹事を決め、開催日2ヶ月前に出欠席をお願いしております。

このシステムを一部変更させていただき、事務局からも個々へFAXまたはメールで案内ができるようにと考えております。お手数ですが、品野台カントリークラブ宛てにご連絡いただくようお願いいたします。

☆品野台カントリークラブ

FAX 0561-41-2388

メールアドレス info@shinanodaicc.com

名古屋学院大学ゴルフ部OB親睦会 事務局

(品野台カントリークラブ内 TEL 0561-41-0078)

須崎英晴(78E) 浅見宏之(93E)

副会長
広報委員会担当

小川博司

(74E)



40周年の年に副会長に任命され、光栄に思っています。同窓生の皆様、同窓会活動にご協力をお願いいたします。

■所属クラブ/ラグビー部

副会長
情報委員会担当

笠井 修

(73E)



今年で同窓会は40周年になります。記念行事が行われますので、多数の皆様の参加をお待ちしています。

■所属クラブ/硬式野球部

会 長

占部 憲一

(71E)



瀬戸から名古屋へ移って1年半が経ちました。是非一度、都市景観賞を受賞した母校白鳥学舎の見学をお勧めいたします。

■所属クラブ/ラグビー部

理事
大学協力委員会
委員長

塚本 久

(70E)



同窓生の皆様、元気にご活躍の事と思います。時には大学について語り合う機会をつくりましょう。

事務局長
総務委員会担当

藪下 靖浩

(82E)



こんな立派な肩書きで頑張っています。同級生の方は驚いていると思いますが、あなたにもできます。

■所属クラブ/ワンダーフォーゲル部

副会長
事業委員会担当

須崎 英晴

(78E)



本年度は40周年記念事業を計画しておりますので、引き続き同窓会活動にご理解とご協力をお願いいたします。

■所属クラブ/ゴルフ部

理事
情報委員会委員長

高津 佑典

(75E)



歳月とは早いもので、今年度、本学同窓会が40周年を無事迎えられたことを心より感謝申し上げます。

■所属クラブ/硬式野球部

理事
広報委員会副委員長

伊藤 嘉彦

(74E)



会えば一瞬にして馴染める同窓会。40周年の懇親会にてお会いできることを楽しみにしています。

■所属クラブ/ワンダーフォーゲル部

理事
40周年実行委員会
委員長

下村 直己

(73E)



不動産事業をしております。同窓会の役目も面白いですよ。同窓生の皆様、40周年記念事業に参加してください。

理事
支部担当委員長

河本 浩詞

(80E)



同窓会イメージソング「I'll be there for you」を作曲。支部会をサポートさせていただきますので、よろしくお願いします。

■所属クラブ/軽音楽部

理事
40周年実行委員会
副委員長

安藤 之人

(80E)



私は不動産業を営んでいます。同窓会に関わって10年になりますが、益々面白くなってまいりました。

■所属クラブ/ゴルフ部

理事
情報委員会副委員長

伊藤 暁

(77E)



私は大学を卒業と同時に同窓会に関わり、30年が過ぎました。これからも皆様のご協力をお願いいたします。

■所属クラブ/剣道部

理事
40周年実行委員会
委員

脇田 芳徳

(81E)



希望羽ばたく宇宙の広い空の下、日差し溢れる白鳥の学舎、出会いに感謝する一期一会の日を共有しましょう。

■所属クラブ/ラグビー部、ユース部

理事
広報委員会委員長

安藤 恵二

(81E)



同窓生の皆様の益々のご活躍とご多幸をお祈り申し上げます。「活躍する同窓生」の情報をお待ちしています。

■所属クラブ/剣道部

理事
40周年実行委員会
委員

田口 幹夫

(80E)



同窓会は一期一会の機会だと思い、是非参加してください。お待ちしております。

理事
40周年実行委員会
委員

近藤 大輔

(96E)



白鳥・日比野と名古屋熱田に新たなキャンパスができました。若い卒業生の方も同窓会に参加してください。

理事
総務委員会副委員長

森田 浩二

(88E)



今年度から総務の仕事を担当しております。今後とも宜しくお願いいたします。

■所属クラブ/ゴルフ部

理事
総務委員会委員長

渡辺 秀一

(82E)



「何事にも感謝する」心を拳拳服膺し、人生の試練を乗り越えていきたいと常々思っております。

中国・四国支部
支部長

藤原一致

(71E)



本大学同窓会の40周年嬉しく思います。僕も中国・四国支部の支部長を引き受けさせて頂き10年以上たちます。毎年支部会を開きますが、出席も少なく試行錯誤しており、良い知恵があればいつも頭を悩ましています。でも嬉しかったことは、転勤で岡山に来た方が大学の同窓会の支部があると言うので訪ねて来られた事です。毎年開催致しますので、一人でも多くの参加をお願い申し上げます。今後、少子化と言う事で大学に一人でも入学してもらいたいと説明して歩きたいところですが、地方では知名度が低いので少しコミーシャルをお願いしたいです。

さて大学の思い出ですが、友愛寮に30人いて部活は大幸まで行っていました。そして瀬戸で遊んで最終のバスに乗れなくて歩いて帰り、エライ思いをした事もありました。今は白鳥学舎になって良くなったですね。支部役員若返りも考えながら、これからも支部活動を活発にやりたいので、本部の方の物心両面でのご指導とご鞭撻をよろしく願い申し上げます。

三重支部 支部長

中野隆自

(71E)



歳月とは早いもので今年度、本大学同窓会40周年が無事迎えられたこと、誠に嬉しく祝い申し上げます。理事長、学長始め、大学の先生方、職員の方々に並びに関係者の方々に、ひとかたならぬご尽力に改めて感謝いたしますと共に、45年の歴史の重みとご苦勞、そしてこれからの大学の展望を思いますと感慨深いものがあります。

今日、私共卒業生が平穩にどうかこうにか世間の荒波にもまれながらも、良き社会人として、或いは社会での様々な職業の責任有る一端を担って来させて頂き、また各分野での色々な方からご鞭撻を頂いておることは、何といっても人生のもっとも多感な時代に名古屋学院大学の建学の精神の下で学んだことが、何かしら知らず知らずのうちに糧として、自分達の人生、社会生活にポジティブに反映されて、現在の私、個人が在るのではないかと思う今日この頃でございます。在学の皆様には、良識と品格の涵養、社会と向き合った学徳を兼ね備えた人物を目指して、キリスト教主義を標榜した名古屋で唯一の大学で獲得されんことを願っております。

私共、同窓会三重支部は、三重県出身の卒業生の皆さんが青春の一コマを、建学の精神《敬神愛人》、明晰かつリベラルな校風の下で学んだ、という連帯感と親しみのなかで母校の発展を願い、卒業生同志の親睦を一層図って行き、名古屋学院大学の日本社会での益々の「良き知名度」「アイデンティティ」が高揚して行くことを願っております。

関東支部 支部長

榊原金市

(70E)



私は70Eで、経済学部経済学科、クラブ活動は陸上部でした。思い出しますと、勉強面では「宗教学」に興味を持ち、毎時間しっかりノートを取りました。理由は、日本と異なる異文化のキリスト教を新鮮に感じたからです。これが、私が遠藤周作の作品に没頭するきっかけにもなりました。陸上部では、大したランナーではありませんでしたが、3年の時、全日本インカレの予選の100mに出場できた事が、社会に出た後の自信と大きなセールスポイントになりました。何事も「一生懸命に勝るものはない」と今更ながら思います。

さて、関東支部の活動は年1回の総会で、参加者は毎年14～15名です。しかし、皆さん博学多趣味、且つ話し上手な方ばかりで、アルコールも手伝って、「近況報告」が盛り上がり毎回時間延長をしています。今年度の秋の総会は、現在幹事の皆さんと相談中です。近々ご案内できると思っていますので、是非一度ご参加ください。

支部長紹介

名古屋学院大学同窓会支部の中から、3支部の支部長をご紹介します。

同窓会運営の報告

同窓会の事業は年に2回の代議員会と9～10回の理事会で十分に協議・審議され、運営されています。各委員会が設けられ、その中から事業計画案及び予算案を検討した上で会議に提出され、議論を重ねて遂行しています。

2007年度事業報告

▼総務委員会

- ◎卒業記念品の贈呈
- ◎優秀クラブ表彰(23クラブ)

▼広報委員会

- ◎会報の発行
- 大学の各部署への原稿依頼 活躍する同窓生やクラブのOB会の取材等を繰り返し返した上で、3万部製作し、9月末に発送。

▼事業委員会

- ◎第16回ホームカミングデー開催
- 2007年11月4日(日)
- 初の名古屋キャンパス開催
- 白鳥学舎1Fレストラウンにて同窓生・教職員・学生との懇親会を開催した。
- 参加総数325名「卒業生196名、家族57名、教職員37名、在校生35名」

▼情報委員会

- ◎同窓会ホームページの更新
- ◎年賀状の作成

▼支部委員会

- ◎支部活動の支援
- ◎支部活動
- 関東支部 支部会開催
- 三重支部 親睦会、支部役員会開催
- 関西支部
- 中国・四国支部

▼大学協力委員会

- ◎2007年7月30日(水) 大学との懇親会開催
- 同窓会会長・理事長・学長による、母校の将来への方向性について懇談しました。

以上の活動を中心としています。各会議の議事録、決算書、規約等を確認されたい方は、ご面倒ですが事務局にお問い合わせください。

なお、理事は代議員の互選により選出し、総会の了承を求められた者であり、代議員は各卒業年次の会員から改選前の理事会で選出された者であります。

▼同窓会終身会員について

同窓会では、学生・卒業生への援助、また、会報の発行、同窓生の集い「ホームカミングデー」の開催などさまざまな活動を行っておりますが、その会計は、卒業生からの入会金・会費で運営されております。最近では大勢の卒業生の皆様に同窓会運営にご協力いただけるようになり、このつながりを広げて行きたいと考えております。

さて、1996年度より、正会員のうち、年会費5年分(1万円)以上を納入していただいた方及び同年度3月以降卒業の方を終身会員とし、その方からは今後年会費の請求をしないこととなっております。なお、1991年3月時点で敬愛同窓会の終身会員であった方は、当大学同窓会の終身会員とみなすこと致しましたので宜しくお願い致します。

▼年会費のお願い

大学同窓会は、卒業生の皆様の会費で運営されております。今後、大学をもちたて、同窓会ネットワークを充実させるためには、是非しっかりと財源が必要です。なにとぞご理解の上、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

会費は、同封の振込用紙をご利用の上、□以上のお振込をお願い致します。

- 年会費 □ 2,000円
- 終身会員費 1万円

既に終身会員の方は不要です。

名古屋キャンパス白鳥学舎に学生アメニティ棟（新棟とクラブハウス棟）が新たに建設されることになりました。様々な機能を持つこれら建物の完成により、キャンパス環境の一層の充実が期待されます。

来年初めに着工し、再来年春には完成の予定です。



白鳥学舎新棟



クラブハウス棟

CAMPUS FLASH

名古屋キャンパス白鳥学舎に学生アメニティ棟建設

新棟・クラブハウス棟建設概要

〔1〕建設場所・規模・内容

名古屋市熱田区熱田西町 白鳥学舎内

〔新棟〕

地上5階建 延べ面積 約5,066㎡

1階 学生ラウンジ、テラス、コンビニ、軽食堂

2階 アメニティコーナー、キャリアセンター、保健センター、教室

3階 教室

4階 ホール、会議室

5階 研究室

〔クラブハウス棟〕

地上2階建 延べ面積 約390㎡

1階 クラブ部室

2階 合宿室

〔2〕着工予定 2009年1月

〔3〕竣工予定 2010年2月

「創立45周年記念事業（名古屋キャンパス学生アメニティ棟建設）」募金のお願い

募金要領

〔1〕目標額 1億円

〔2〕一口の金額

A	100,000円
B	30,000円
C	50,000円
D	100,000円
E	500,000円
F	1,000,000円

〔3〕送金方法

郵便局からお振込みください。

郵便振替 0089019180542

口座名義 学校法人 名古屋学院大学

〔4〕募金期間

2008年8月から2010年3月まで

〔5〕募金額により所得税法の免除の措置が受けられます。

お問い合わせ先 名古屋学院大学財務課募金係

TEL (052)678-4084

募金趣意書

名古屋学院大学は、2009年（平成21）年に創立45周年を迎えます。これもひとえに皆様方のご厚情の賜物と深く感謝申し上げます。

この間、本学は瀬戸キャンパスにおいて発展を続けてまいりましたが、新たな飛躍を図るため、名古屋市熱田区白鳥地区と日比野地区に名古屋市の協力を得て、2007年4月に名古屋キャンパスを開設することができました。現在、名古屋キャンパスには、経済学部・商学部・外国語学部の他に大学院の一部の学生が学んでおり、瀬戸キャンパスには人間健康学部と運動施設を利用しているスポーツクラブの学生が学んでおります。

名古屋キャンパスは、名古屋学院の伝統を21世紀のグローバル時代に生かすべく設計・建設され、名古屋市都市景観賞を受賞いたしました。一方で、本格的なダブルキャンパスから1年余りを経て、今後の教育・学生生活ニーズへの課題も見えてまいりました。その対応として創立45周年を機に、学生生活の一層の充実と新しい学部増設による大学基盤の充実を見据えて、白鳥学舎に新棟とクラブハウス棟を計画いたしました。

新棟建設に要する資金は、原則として積立金等の自己資金を充当することとしておりますが、特に学生アメニティ施設に関しましては、皆様方にもご賛同いただき創立45周年記念事業として建設させていただきたく存じます。そして記念事業として建設するために皆様方からの寄付金を募りたく、ここに「創立45周年記念事業（名古屋キャンパス学生アメニティ棟建設）」の募金をお願いさせていただきます。

本学の教育活動の一層の充実と発展のため、何卒ご協力を賜りますようお願い申し上げます。なおご協力いただきました皆様方のご芳名は、銘板にして建物の一角に末永く保存させていただきます。

第44回名学大祭開催

〈11月1日(土)・2日(日)〉

第44回名学大祭を開催します。テーマは「WISH〜未来へ届け〜」。これは、誰でもWISH(願い)を持っている。その願いは人それぞれで小さいものから大きいものまである。今回のテーマは、大学祭をとおして出会えた地域の人々・仲間と自らの力で願いを叶え、その願いを未来という現在の延長線上にある場所へ届けようという思いをこめたものです。5月より大学祭に向けて始動した活動「ベトポトルキップでワクチンを届けよう」も当初の目標8万個をすでに上回り、16万個回収を目指します。これはエコ活動の一環でもあり、大学祭では昨年を引き続きエコを取り入れた企画を用意します。

この他、模擬店、クラブ活動発表、ステージ企画など盛りだくさんの内容です。みなさまぜひご来場ください。

第2回瀬戸キャンパス祭開催

〈9月27日(土)〉

瀬戸キャンパスに所属する人間健康学部生を中心とした瀬戸キャンパス祭を開催します。学生が自ら企画するステージイベントや模擬店に加え、BLS講習やバランスポール競技、バーチャリアリティ体験など人間健康学部ならではの企画も満載です。

この機会に地域や保護者の方々との交流を深めます。当日はオープンキャンパスも同時開催します。みなさまぜひご来場ください。

「文部科学省G.P.」 採択シンポジウム開催

2008年7月26日(土)に名古屋キャンパス白鳥学舎において、「現代の若者気質を活かす教育」(文部科学省G.P.採択シンポジウム)を開催しました。当日は学内外より160名程の参加者があり、講演会の模様はインターネットを通じてライブ配信もされました。

シンポジウムでは、①耳塚寛明氏(お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科教授)による「大学教育の行方」―変貌する若者・高校と求められる能力の狭間で―、②小杉礼子氏(独立行政法人労働政策研究・研修機構統括研究員)による「就職から見た現代の大学生の課題」をテーマに講演が行われました。続いて、本学が採択されている特色G.P.現代G.P.学生支援G.P.の取り組みを中心に、水野教授、三井教授、黒田准教授によるトークセッションを実施、パネリストに耳塚氏、小杉氏、本学の古池教授、児島教授、小林教授、コーディネーター木船経済学部長によるディスカッションを行いました。聴衆は充実した講演と白熱したディスカッションに魅了され、盛会のうちに終了しました。(この模様はCBCテレビのニュースでも紹介されました。)

本学は、2006年度特色G.P.「ITによる経済学部教育の標準化と質保証」、2007年度現代G.P.「地域創生プログラムの実践」、学生支援G.P.「自分発見型学生支援ネットの構築に向けて」が採択されています。

G.P.とは

文部科学省では、大学等が実施する教育改革の取組の中から、優れたものを選び、支援・情報提供を行っています。この「優れた取組」を「Good Practice」と呼び、略して「G.P.」と呼んでいます。

学生運営の店「Cafe&Bakery MilePost」 (カフェ&ベーカリー マイルポスト)オープン!!

2008年1月27日(日)に学生運営のまちづくりカフェ「マイルポスト」がオープンしました。

本学では、2007年度文部科学省現代G.P.(現代的教育ニーズ取組支援プログラム)に選定された取り組み「『地域創成プログラム』の実践」や名古屋市との地域連携協定(2007年10月1日締結)に基づき、名古屋熱田区でのまちづくり活動を本格的に始めています。

その活動の一環として、日比野商店街の空き店舗を活用し、地域との交流を深める学生運営のまちづくりカフェ「Cafe&Bakery MilePost(マイルポスト)」をオープン。『地域創成プログラム』の地域貢献の一つである「もの・まちづくり」事業のアンテナショップとしての役割を担います。ここでは、大学の指導・監督のもと学生が主体となって店舗運営を行い、経営管理やまちづくりなどを学んでいきます。また、「マイルポスト」を拠点に様々な交流プロジェクトの企画・実践を行い、地域と連動しながら「地域共生・地域創造」を具体的に学びます。



バングラデシュ、ネパールなどのフェアトレード雑貨も取り扱います。



<8の日清掃>

日比野商店街では毎月8日に「8の日清掃」を実施。マイルポストスタッフももちろん参加します。清掃後の地域の方々との交流も楽しみのひとつです。



<第16回ひびのこイまつり>に参加(2008年4月13日(日)日比野商店街主催)マイルポスト同好会を中心とした16名の学生ボランティアが活躍し、企画段階から運営まで多岐に渡り活躍しました。

<「マイルポスト」学生スタッフ>



マイルポスト同好会に所属。カフェの運営、イベント運営などを通じて社会貢献活動を推進していきます。

「明るくて活気があり、世代を超えて楽しくなごめるカフェです。地域の方々にも愛されるお店にしたいですね。フェアトレード商品やイベントなど社会貢献にも力を入れていきます。」

マイルポスト新店长 清岡春奈さん

外国語学部
国際文化協力学科4年



Cafe&Bakery MilePost カフェ&ベーカリー マイルポスト

〒456-0074 名古屋市熱田区日比野町62番地1

TEL&FAX 052-784-7988

営業時間 AM11:00~PM6:00

定休日 木・日曜日

地下鉄日比野駅
3番出口より
徒歩1分



都市景観賞受賞

大学の白鳥学舎が、第22回名古屋都市景観賞《まちなみ部門》に選ばれ、2008年2月6日(水)に表彰を受けました。都市景観賞とは、毎年その年内に建てられた景観上魅力的な建築物を選定し、表彰するものです。

”堀川沿いの白鳥公園に隣接して建てられた白鳥学舎は、その敷地の特性を活かし、校舎と公園の境界部分に柵を設けずに両者の敷地を連続させている。休日には、市民が開放的な校舎と公園を自由に行き来する風景が見られ、大学が敷地に上手に溶け込んでいる印象を与えている”と選定理由にあり、名古屋キャンパス設計コンセプトがそのまま評価されています。推薦・応募総数429件の中から選定された7件に入ったもので、本学の他に選出された建築物には、ミッドランドスクエア・アーバンネット名古屋ビル・広告付きバス停留場上屋(B・S・T・O・P)などランドマーク的大建物からバス停、個人住宅まで多種多様に選定されています。今回の都市景観賞の受賞は、名古屋キャンパスを中心に、未来に向かって大きく発展をしていこうとしている名古屋学院大学にとって、大きな弾みとなるものです。

自己推薦AO入試における同窓会長推薦区分の設定について

自己推薦AO入試が9月以降に実施されますが、その中に同窓生子弟を対象とした同窓会長推薦による受験区分を設けています。自己推薦AO入試で受験をお考えの同窓生子弟は、同窓会事務局に推薦書発行についてお問い合わせください。

自己推薦AO入試は、学科試験等は実施せず、その代わり2回の事前面談を通し、学習意欲や目的意識の高い人材を求め入試です。事前面談では、大学入学後の目標確認や基礎学力・コミュニケーション能力・プレゼンテーション能力・自己表現力などを計ります。エントリー方法は、下記期間中にエントリーシート、調査書(高校卒業・卒業見込者のみ)および同窓会長推薦書を併せてご提出ください。

◆自己推薦AO入試エントリー期間

(期限消印有効)

第1期 9月8日(月)～9月25日(木)

※第1期の申込期限が、本会報発行予定日程と重なっています。既に第1期でエントリーされた同窓生子弟は、至急入学センターにご連絡ください。

第2期 11月4日(火)～11月28日(金)

大学案内・入学願書等の請求、入試要項に関するご質問等ございましたら、入学センター(052-678-4088)までお問い合わせください。

瀬戸キャンパス グラウンドリニューアル・学生寮設置

2008年2月に瀬戸キャンパスの第1グラウンド、野球場、アーチェリー練習場をリニューアルしました。このうち第1グラウンドは、天然芝に限りなく近い人工芝を使用。鮮やかなグリーンフィールドは、衝撃吸収力が高く水はけもよいため、より安全にプレーできます。ラグビー部、アメリカンフットボール部のさらなる飛躍への期待が高まります。また、瀬戸キャンパスでは2008年4月より人間健康学部生を対象とした女子寮を新設、学習に集中する環境を整えています。

第1グラウンド



▲ラグビー部



<第1グラウンドリニューアル記念ラグビー祭>
2008年4月27日(日)に第1グラウンドリニューアルを記念し、ラグビー祭を開催。中学生、高校生による招待試合、名古屋学院大学と朝日大学による定期戦などが行われました。たくさんのギャラリーが見守る中、熱戦が繰り広げられました。



▲アメリカンフットボール部



野球場



▲硬式野球部

アーチェリー練習場



▲アーチェリー部



女子寮(コスモス)



2008年度入試結果と2009年度入試について

本学の2008年度入試結果は別表のとおりとなりました。志願状況は、経済学部で前年度比約10%増となったのに対し、外国語学部と人間健康学部では志願者が減少する結果となりました。総志願者数は、3,285人となり、前年度比17%の減少となりました。2008年度は18歳人口の激減期(6万人減)に当たり、その影響を受ける形となりました。一方、入学状況は昨年度に引き続き好調で、入学定員(1,190人)の約1.1倍にあたる1,322人(男:999人、女:323人)の入学者を迎え入れることができました。合格者の入学歩留率が高かったことや、女子学生比率が高かったことなど様々な要因が考えられますが、いずれにしても、名古屋キャンパスの通学アクセス、本学の教育内容・環境の良さが十分評価されている結果だと思えます。「私大の47%が定員割れ」という報道が先日ありましたが、18歳人口激減により私立大学は非常に厳しい環境にあります。そういった中にあつても「選ばれる大学」となるため、今後教育内容のさらなる充実が必要と考えています。

次に2009年度入試についてですが、さらに受験機会を拡大し、推薦試験・一般試験の試験方法や種類、日程などを大幅に変更・追加しました。主な変更点は次のとおりです。

①一般入試
 解答方式変更
 試験全日程、オールマーク解答方式とする。記述解答を廃止する。
 試験日程追加
 中期日程を設定する:2月10日(火)
 「センタープラス方式入試」を導入する:2月10日(火)
 センター試験得点上位2科目十本学試験1科目(英語or国語)

②一般推薦試験
 試験方式変更
 リハビリテーション学科の前期試験方式を変更し、3試験方式から2試験方式とする。

小論文十基礎学力テスト十面接→基礎学力テスト十面接
 従来日程を「前期」とし、12月中旬に「後期」を設定する。
 後期日程:12月13日(土)
 前期地方試験会場追加
 2会場(金沢・広島)から4会場(浜松・津・金沢・広島)に増やす。(地方試験会場は11/8のみの設定)
 リハビリテーション学科も地方試験会場受験を「可」とする。

③センター試験利用入試
 受験型追加
 リハビリテーション学科に「2教科型」を設定する。

2009年度入試は8月の体験入学AO入試から既にスタートしており、今後別表の日程で推薦入試・一般入試が実施されます。ご子弟の実力が十分発揮できる入試区分で積極的に受験いただけたらと思います。

本学は、瀬戸キャンパスと名古屋キャンパスの2つのキャンパス体制で新たな歴史を刻み始めました。教育内容においても、キリスト教主義に基づく人間教育を礎とし、活発な国際交流(留学制度)、先進の情報教育、充実したキャリア支援などの特色のさらなる発展をはかりたい。また本学の独創的かつ先進的な教育体制が、文部科学省の推進するGood Practice(GP)プログラムの3分野に採択されるなど、外部機関からも高い評価を得ています。同窓生の方々には、こういった点を十分ご理解いただけたらと思います。

学生募集や各方面へのPR活動には、本学の伝統や教育内容をご理解され、本学の良さを十分ご認識されている同窓生の方々のご協力が必要となります。入学センターでは、広報資料として大学案内や入試要項を用意しています。ご子弟の入試、その他配布資料としてご入用の際は、入学センター(052-678-4088)にその旨ご連絡ください。よろしくお願いたします。

①一般入試
 解答方式変更
 試験全日程、オールマーク解答方式とする。記述解答を廃止する。
 試験日程追加
 中期日程を設定する:2月10日(火)
 「センタープラス方式入試」を導入する:2月10日(火)
 センター試験得点上位2科目十本学試験1科目(英語or国語)

②一般推薦試験
 試験方式変更
 リハビリテーション学科の前期試験方式を変更し、3試験方式から2試験方式とする。

2008年度入試結果(各入試区分を合算した表です)

学部	学科	志願者				合格者				入学者			
		2008		2007		2008		2007		2008		2007	
		全体	女子	全体	女子	全体	女子	全体	女子	全体	女子	全体	女子
経済	経済	1,070	100	1,007	88	672	65	637	66	355	20	357	32
	政策	392	47	326	37	290	35	288	32	176	16	167	14
商	商	510	115	480	106	373	96	340	87	267	60	253	53
	情報BC	174	48	306	70	160	44	206	58	112	31	125	34
外国語	英米語	429	232	568	313	254	146	240	148	155	87	149	96
	中国コミュ	67	41	161	98	69	43	124	69	36	17	68	36
	国際文化協力	124	80	205	106	116	75	140	75	52	34	78	36
人間健康	人間健康	133	37	263	79	118	37	177	53	83	22	134	36
	リハビリ	386	126	638	172	153	60	146	51	86	36	85	33
総計		3,285	826	3,954	1,069	2,205	601	2,298	639	1,322	323	1,416	370

*第2~3志望合格者を合格学科に算入。そのため志願者数より合格者数が多い場合があります。

2009年度入試日程

学部	試験日	試験区分	試験実施学部	試験日	試験区分	試験実施学部	
学部	10月4日(土)	体験入学AO入試 特別入試 前期(海外帰国生徒・社会人・外国人留学生) 編入学試験 前期	全学部	2月27日(金)	一般入試 後期A日程 特別指定校推薦入試 後期A日程 名古屋高校特別入試 後期A日程	全学部	
	11月8日(土)	一般推薦入試 前期1日目 スポーツ推薦入試 前期 自己推薦AO入試 1期		3月10日(火)	一般入試 後期B日程 特別指定校推薦入試 後期B日程 名古屋高校特別入試 後期B日程		
	11月9日(日)	一般推薦入試 前期2日目 指定校推薦入試 特別指定校推薦入試 前期		○センター試験利用入学試験(前期・後期)も実施します。個別試験はありません。			
	12月13日(土)	一般推薦入試 後期		大学院			
	1月30日(金)	一般入試 前期1日目		試験日	試験区分		研究科名
	1月31日(土)	一般入試 前期2日目		9月27日(土)	経済学専攻(修士課程1期) 英語学専攻(修士課程1期)		経済経営 外国語学
	2月1日(日)	一般入試 前期3日目		9月28日(日)	経営政策専攻(博士前期課程1期)		経済経営
	2月2日(月)	名古屋高校特別入試 前期 スポーツ推薦入試 後期 自己推薦AO入試 2期		2月7日(土)	経済学専攻(修士課程2期)		経済経営
	2月8日(日)	特別入試 後期(海外帰国生徒・社会人・外国人留学生) 編入学試験 後期		2月8日(日)	経営政策専攻(博士前期課程2期)		経済経営
	2月10日(火)	一般入試 中期 センタープラス方式入試		2月11日(祝)	英語学専攻(修士課程2期)		外国語学
		2月28日(土)	経営政策専攻(博士後期課程2期) 全専攻共通(修士課程3期・博士前期課程3期)	経済経営			

(注)通信制の試験については、別途お問い合わせください。

2008年度名古屋学院大学

インターンシップ受け入れのお願い

学習意欲あふれる後輩の インターンシップ受け入れを！

学生が在学中に企業等において就学体験を行うインターンシップに対する学生及び社会の関心が高まる中、各大学の支援体制や地域の推進活動も充実してきています。また、昨今の経済・社会環境の劇的な変化に伴う変革期に、インターンシップを活用した積極性・創造性豊かな人材が活躍する社会・時代を作り上げるよう、産学官協同の重要性が改めて叫ばれています。

本学でも、インターンシップは学生のキャリア形成において重要な位置を占めており、全学年・全学部の学生が参加できます。また、学部・学科により単位認定を行っています。学生の関心は年々高まり、2007年度は144名の学生が参加いたしました。

今後も意欲のある学生がインターンシップに参加してくれるよう、大学としても体制を強化していきたいと考えています。そのためには、今以上に学生を引き受けていただく企業を増やしていく必要があります。同窓生の皆様には是非とも本主旨にご理解をいただくたくお願い申し上げます。

インターンシップとは

学生が企業等において就学体験を行う制度です。産業の活性化とそれに応える教育の改革を視野に入れたインターンシップは、今、産業界および教育現場の熱い注目を集めています。

インターンシップのメリット

企業のPR効果
参加学生による口コミ、キャリアセンターからの学生への宣伝・告知力があります。

優秀な人材の確保

学生の資質や特徴を見極める方法や基準作りの参考になります。

職場の活性化

若手社員の研修としての位置付け、学生による業務改善の指摘などが見込めます。
大学とのコミュニケーションの構築
大学・学生への企業認知度の向上は、採用活動にも有益となります。



2008年度名古屋学院大学 インターンシップ(春季) 概要について

- 期間**
春季/2009年2月上旬～2月中旬
 - 実習**
上記期間中の2週間(実動10日間)
 - 待遇**
「通勤費」「手当」「食費」について、原則として支給していただくことなく結構です。
 - 保険**
インターンシップ実施期間中の事故(通勤および実習中)については、本学で学生教育研究災害傷害保険および学研災付帯賠償責任保険に加入しています。
 - 募集学年・学部**
全学年・全学部の学生を対象としています。(春季は1～3年生対象)
 - 募集方法**
本学キャリアセンターが、受入企業・団体一覧を学生に開示。参加を希望する学生には、希望の実習先名や参加動機、実習目標、自己PRなどを記入する「インターンシップ参加申込書」(本学所定様式)を提出させます。
 - 学生の選考**
本学教員が面談・選考いたします。
 - 誓約書**
実習期間に知り得た機密および個人情報の守秘義務を守るため、実習生は誓約書を提出します。
 - 覚書の締結**
企業・団体と本学との間で、インターンシップの実施にかかる取り決め事項の確認をいたします。
- インターンシップ受け入れの詳細は、名古屋学院大学 キャリアセンターまでお問い合わせください。
- 名古屋学院大学 キャリアセンター**
TEL 052-678-4090 E-mail career@ngu.ac.jp
- ★参照サイト「インターンシップ推進協議会」
<http://www.internship-ssc.org>
※情報量が多く、実施にあたり大変参考になりますので、是非ご覧ください。

インターンシップ 体験者の声



インターンシップを経験し、実社会にふれた学生の体験談と後輩へのメッセージを紹介します。

研修先
名鉄百貨店
参加学生



野村利沙さん
(外国語学部国際文化協力学科)

学生のうちに 社会を体験できるチャンス

インターンシップ参加のきっかけは、3年生になり、就職について少し意識し始めた時にインターンシップ経験者の体験談を読んだことでした。その中のひとりの学生の言葉が目にとまりました。「興味とやる気があるなら応募すべき。必ず、何か得るものがあるはずです。」元々、将来進みたいと思っていた業界があった私は、彼女のこの言葉に強くひかれて参加を決めました。

研修先は名鉄百貨店の婦人第一営業部で、婦人服の販売と接客の実習を体験しました。ファッション業界に興味があり、いずれは...と考えていたものの細かい業種まで決まっていなかったため、文字通り「百貨」を扱っている百貨店をあえて選びました。2週間という短い期間ではありますが、社会人としてのマナーや仕事への適性、そして、今まで気づかなかった自分の一面など、新たな発見がたくさんありました。また、失敗することもありました。しかし、失敗・失敗・成功が成長のリズムだと気づきました。イメージだけでなく、実際に体験することで初めてわかることもあり、就職してからわかるより、学生のうちに確かめてみるだけでも価値はあると思いました。

学生のうちに社会を体験できる絶好のチャンスこそインターンシップであり、必ず、何か得るものがあると思えます。



名古屋中学校・高等学校の新校舎建設が始まりました。

創立120周年記念事業として、今年4月から名古屋中学校・名古屋高等学校新校舎建設がスタートしました。新校舎は4階建ての高層校舎2棟と体育施設で、中学1年生から高校3年生まで6学年の全生徒が学べる教室と、図書館、理科室、芸術科、家庭科の特別教室、さらにランルームも館内に計画されています。体育施設としては、新屋内プール、バスケットコート2面のアリーナ、柔道・剣道場、卓球場を備えた体育館とクラブハウスも同時に建設します。7月31日には生徒・保護者代表も参加し安全祈願と定礎式を行いました。全館の完成予定は2011年ですが、来年の8月には第1期工事が完了します。高校3年生は新しい校舎で卒業までの半年を学ぶことになっていきます。在校生も日々変化していく工事の状況に期待を膨らませています。名古屋中学校・名古屋高等学校の新校舎建設で学習環境は、今まで以上に充実したものとなります。ご期待ください。



部活動…名古屋中学校・高等学校のもう一つの顔

名古屋中学校・名古屋高等学校は、男子校として県下では希少な価値のある学校となっています。中高一全生徒数で約2,200名、高校の1学年は40人クラスの12〜13クラスです。生徒一人一人に目標をしっかりと持たせる指導を進めることで、将来を見越した大学進学をほとんどの生徒が選択し、近年では中部圏はもちろん関東・関西圏を中心に全国の大学の進学をしています。



さらに、学校生活のもう一面は部活動にあります。中学高校の時期に同年代の同じ目標を持ったもの同士が互いに競い、力を合わせ目標に向かって努力することは、学校生活をより充実したものとするのももちろん、生涯を通しての人間関係作りや本人の人格形成には欠かせないものとなっております。学校も積極的に活動を奨励しています。今年夏のインターハイには、全国大会常連となっているテニス・陸上競技・水泳競技の競泳・水球の各部が出場しました。県下の男子出場者数は、最多の人数でした。また、バスケットボール、ラグビー、サッカーも全国大会に手が届くところまで来ております。文系クラブでも囲碁将棋部が全国大会に出場し、吹奏楽部、弦楽合奏部も活発に活動し定期演奏会を開くまでの力をつけています。また、JRC部もボランティア活動や環境問題に取り組んでいます。今後、本校はますます文武両道の中高一貫校、知性・活力に満ちた男子校として発展していきます。

来年、設立100周年を迎える敬愛同窓会

名古屋学院の「敬愛同窓会」は、1909年3月の卒業式後、当時の旧制名古屋中学校の校長室において出席者12名の議決により誕生、会長は木村克己校長(当時)、年会費は20銭と記録されています。現在同窓会に登録されている卒業生(故人を含む)は、名古屋英和学校の開校時から数えて約33,500人の大同窓会に発展しています。来年

名古屋学院トピックス

TOPICS

敬愛同窓会トピックス



敬愛同窓会副会長
安井俊夫
(昭31卒)

2009年には同窓会100周年を迎えます。これを記念して名中・名高新校舎建設への協力を中心に記念事業を検討中です。

敬愛同窓会は、毎年6月に定時総会を開催し、総会・懇親会には名古屋学院大学からも理事長、学長、同窓会会長はじめ多くの方々にご参加いただき交流を深めています。その他、関東・関西に支部を設けるとともに、卒業年次会、地域・職域の会など多彩な活動を展開中。

近時の同窓生の活躍などトピックスをご紹介します。まずは、同窓会会長の小栗七生氏(昭30卒)が平成20年春の叙勲で「旭日重光章」を受章。日本自動車販売店協会連合会会長の要職をはじめとする産業振興への功労が高く評価されました。一方、地域の産業経済活動のリーダーである商工会議所の会頭2人が昨秋誕生し活躍中です。春日井商工会議所会頭清水勲氏(昭37卒)と瀬戸商工会議所会頭成田一成氏(昭41卒)の両氏で、清水氏は敬愛同窓会副会長、成田氏は同理事を務めています。

科学技術分野では、月の裏面を人類史上初めて鮮明画像で撮影に成功した月周回衛星「かぐや」の責任者を務めた加藤 學氏(昭42卒・宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究所 月周回衛星セレーネ計画サイエンスマネージャー)の活躍は世界が注目。スポーツの面では北京オリンピックに大谷義明氏(平7卒)が総合馬術に出場、メダル、入賞には至りませんでした。活動拠点英国での次期ロンドンオリンピックに期待したいと思えます。また、ロンドンについては、英和学校第1回卒業生で彼の地で活躍し、霧の画家」と賞賛された牧野義雄氏の作品が近年再評価されてきており、豊田市美術館で企画展が開催されて好評を博したのもうれしい限りです。

今後とも同窓各位の多彩で積極的な活躍により、大学も含めた「名古屋学院」とそれぞれの同窓会の更なる発展を期待しています。

同窓会員のご子弟を、ぜひ名古屋中学・名古屋高等学校へ!!

現在次年度入試要項を配布中です。必要なのは事務局学務課へご請求ください。なお、入試に関してのご相談も随時受け付けておりますのでご連絡ください。(052-772-1152/71)

同窓生のサイバーコミュニティ 同窓会ホームページ 「NGUDO.com」

◎名古屋学院大学同窓会ホームページ
<http://ngudo.com/>

インフォメーション

同窓会事務局では、皆様のご意見・アイデアをハガキ・FAXでもお待ちしております。
「NGUDO.com」同様、お気軽にご投稿ください。

同窓会ホームページ「NGUDO.com」は、開設9年目を迎えます。今や3万6千人を超える同窓生の皆様に、本ホームページを同窓生交流の場として利用していただくため積極的に運営を行っております。本会報をお読みの同窓生の皆様、お気軽に同窓会ホームページにアクセスしていただき、活発な情報交換の場としてご利用ください。よろしくお願いいたします。

同窓生の皆様へ発送した郵便物のうちかなりの数が宛先不明として返送されてまいります。一人でも多くの方々に情報をお伝えするために、お知り合いの同窓生の消息をご存知の方は本ホームページをお知らせいただき、住所登録・変更ページに情報の書き込みをご案内していただくと幸いです。

同窓会への要望・質問はもちろん、皆様からいただいた貴重な意見を今後の同窓会運営に活かしてまいりますので、「NGUDO.com」を是非ご利用ください。

CONTENTS



●トップページ



●支部ページ



●住所登録・変更ページ



●投稿ページ

三重支部

中野隆自(71年卒)
〒516-0009
三重県伊勢市宮町2丁目8番2号
ラ・フエンテ2F
(有)ジャパンネットワークピア 内
TEL 0596-28-8186

中国・四国支部

藤原一致(71年卒)
〒712-8003
岡山県倉敷市水島明神町2-46
(株)アストロ興産 内
TEL 086-444-5252

関東支部

榎原金市(70年卒)
〒125-0035
東京都葛飾区南水元三丁目
4-1-1002
TEL 03-3600-5726

関西支部

中川博嗣(68年卒)
〒544-0025
大阪市生野区生野東1-1-37
中川登記測量事務所 内
TEL 06-712-3574

▼支部連絡先

各支部では毎年支部会を開催しています。お問い合わせは左記へお願いします。またホームページ上でも、各支部の連絡事項等をご覧いただけます。

▼住所変更届けのお願い

同窓会事務局では、同窓会員の皆さんに同窓会会報等の配布物を定期的に送付しておりますが、住所不明による郵便物の返送がかなり発生しております。現住所より転居される場合、同窓会事務局までご連絡いただき、同窓会ホームページの「住所登録・変更ページ」にて変更していただきますようお願い致します。また、知り合いの同窓生で転居された方をご存じの場合も、同様にご連絡いただけますようお願い致します。

連絡先

名古屋学院大学同窓会事務局
〒460-0008
名古屋市中区栄4-1-1
中日ビル7階

TEL 052-242-1644
FAX 052-242-1644

※同封の住所・勤務先等変更FAX用紙をご利用ください。

同窓会ホームページアドレス
<http://ngudo.com>

同窓会員の皆様 ご注意を

最近、同窓会の名を騙って住所や就職先を電話FAX、はがき等で尋ねてくる事があるようですが、同窓会では一切そのような事はしておりませんので、ご注意ください。